



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月9日

上場会社名 株式会社インプレスホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 9479 URL <http://www.impressholdings.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 唐島 夏生  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役/執行役員CFO (氏名) 山手 章弘 TEL 03-6837-5000  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	9,547	4.6	700	33.2	764	32.4	658	46.4
29年3月期第3四半期	9,131	4.9	525	△10.1	577	△6.2	449	7.4

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 719百万円 (69.8%) 29年3月期第3四半期 423百万円 (△1.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	19.74	—
29年3月期第3四半期	13.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	12,659	7,600	59.9	227.15
29年3月期	11,287	6,895	61.0	206.24

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 7,577百万円 29年3月期 6,880百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	—	—	0.60	0.60
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	0.50 ～1.50	0.50 ～1.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,500	1.9	100	—	200	—	6.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料P.10「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	37,371,500株	29年3月期	37,371,500株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	4,011,126株	29年3月期	4,007,486株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	33,362,276株	29年3月期3Q	33,366,455株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても異動はありません。

当社は、有価証券の取引等の規制に関する内閣府令第49条第2項に規定する特定上場会社等に該当し、インサイダー取引規制の重要事実の軽微基準については連結ベースの数値に基づいて判断することになります。

事業セグメント区分	事業区分		事業内容	主要な会社
IT (IT分野に関するメディア及び 関連サービス事業)	メディア事業	デジタル	デジタルメディアの企画制作、 販売及び広告収入等	㈱インプレス ㈱IAD 英普麗斯(北京) 科技有限公司 Impress Group Singapore Pte. Ltd.
		出版	出版流通を主な販売チャネルと した雑誌、ムック、書籍等の企 画制作、販売及び広告収入等	
		ターゲット	ユーザー属性の明確な顧客層を 対象としたメディアの企画制 作、販売及び広告収入等	
	サービス事業	販促物等の受託制作及びその周 辺サービス		
音楽 (音楽分野に関するメディア及 び関連サービス事業)	メディア事業	デジタル	デジタルメディアの企画制作、 販売及び広告収入等	㈱リットーミュージック
		出版	出版流通を主な販売チャネルと した雑誌、ムック、書籍等の企 画制作、販売及び広告収入等	
デザイン (デザイン分野に関するメディ ア及び関連サービス事業)	メディア事業	デジタル	デジタルメディアの企画制作、 販売及び広告収入等	㈱エムディエヌコーポレーション
		出版	出版流通を主な販売チャネルと した雑誌、ムック、書籍等の企 画制作、販売及び広告収入等	
山岳・自然 (山岳・自然分野に関するメデ ィア及び関連サービス事業)	メディア事業	デジタル	デジタルメディアの企画制作、 販売及び広告収入等	㈱山と溪谷社
		出版	出版流通を主な販売チャネルと した雑誌、ムック、書籍等の企 画制作、販売及び広告収入等	
モバイルサービス (モバイル関連のサービス事業 及びメディア事業)	メディア事業	デジタル	デジタルコンテンツの企画・制 作	㈱ICE
	サービス事業		電子書店の構築・運営等ブラッ トフォーム事業	
その他			出版事業、電子出版等の事業開 発及びR&D等 Webコンテンツの企画・制作等	㈱近代科学社 ㈱インプレスR&D ㈱クリエイターズギルド Impress Business Development(同)
全社			グループ経営・財務戦略の策定 グループ各社の経営管理、販売 ／物流管理	㈱インプレスホールディングス(当社) ㈱Impress Professional Works

(当第3四半期連結累計期間の業績全般の概況)

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものです。

文中の事業セグメントの売上高は、セグメント間の内部振替高を含んでおり、セグメント利益は、営業利益をベースとしております。

当第3四半期連結累計期間につきましては、新刊書籍及び前期に拡大した読み放題サービスの反動による電子書籍の販売減少を、既刊書籍の販売、カレンダー及び手帳等の季節商品の出荷の増加等により補い、メディア事業は前年同期並みとなりました。またサービス事業におきましては、デジタルコミック等の販売プラットフォーム事業が堅調に推移、アジア市場向けSP（セールスプロモーション）の受託案件の増加に加えて、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めた株式会社クリエイターズギルドの受託売上が増加したことで、増収となりました。

これらの結果、売上高は前年同期（9,131百万円）に比べ416百万円増加し、9,547百万円となりました。営業損益は、人材強化に伴う人件費の増加や広告費等の増加はあったものの、増収と収益性の改善により、前年同期（525百万円）に比べ174百万円利益が増加し、700百万円の営業利益となりました。経常損益は、持分法による投資利益の計上等により、前年同期（577百万円）に比べ187百万円利益が増加し、764百万円の経常利益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、保有する投資有価証券の一部売却による投資有価証券売却益の計上により、前年同期（449百万円）に比べ208百万円増加し、658百万円となりました。

(セグメント別の概況)

#### ①IT

デジタルメディア事業につきましては、前期に拡大した読み放題サービスの反動による電子書籍等のコンテンツ販売の減少に加え、主力のデジタル総合ニュースサービス「Impress Watch」（<http://www.watch.impress.co.jp/>）等の広告収入が減少し、減収となりました。

出版メディア事業につきましては、既刊書籍の販売が好調に推移し、大型季節商品であるカレンダー及び手帳の出荷は増加したものの、書籍及びムックの新刊タイトルの減少等により、減収となりました。

サービス事業は、アジア市場向けのSP受託事業の受注が回復したことに加え、ターゲットメディアと連携したビジネスセミナーの規模拡大等によりイベント収入が堅調に推移し、増収となりました。

以上により、「IT」の売上高は、メディア事業の減収をサービス事業の増収で補い、前年同期（4,357百万円）とほぼ同水準の4,374百万円となりました。セグメント利益では、アジア市場向けのSP受託事業の利益改善と貸倒引当金等の販管費の減少等により、前年同期（284百万円）比36.7%増の388百万円の利益となりました。

#### ②音楽

音楽セグメントにつきましては、デジタルメディア事業において電子書籍等のコンテンツ販売は減少となったものの、楽器売上のプラットフォーム「楽器探そう！デジマート」（<http://www.digimart.net/>）における楽器店からの登録料及び決済サービス収入の増加により、増収となりました。また、出版メディア事業において書籍及びムックの新刊タイトルの増加に加えて、アーティストの公式Tシャツ販売（Tシャツオンデマンド）が好調であったため、増収となりました。

以上により、「音楽」の売上高は、前年同期（1,313百万円）比9.1%増の1,433百万円となりました。セグメント利益では、刊行タイトル増加による原価増や人件費等の販売管理費の増加はあったものの増収により、前年同期（7百万円）比109.7%増の16百万円となりました。

#### ③デザイン

デザインセグメントにつきましては、電子書籍等のコンテンツ販売の減少をデジタル広告の増収で補えず、デジタルメディア事業は若干の減収となりました。出版メディア事業につきましては、新刊書籍の刊行遅れはあったものの、「すごいストレッチ」など既刊書籍の販売が好調に推移し、増収となりました。

以上により、「デザイン」の売上高は、前年同期（649百万円）比6.7%増の692百万円となりました。セグメント利益では、人件費や販売印税等の販売管理費の増加はあったものの増収と収益性の改善により、前年同期（67百万円）比28.5%増の86百万円の利益となりました。

④山岳・自然

山岳・自然セグメントにつきましては、電子書籍等のデジタルコンテンツ販売の減少や雑誌事業の減収を、大型季節商品であるカレンダーの出荷の増加や登山情報サイト「ヤマケイオンライン」(<http://www.yamakei-online.com/>)の広告収入の増加により補い、メディア事業の売上高は前年同期並みとなりました。

以上により、「山岳・自然」の売上高は、前年同期(1,595百万円)と同水準の1,596百万円となりました。セグメント利益では、収益性の改善により、前年同期(185百万円)比29.3%増の239百万円の利益となりました。

⑤モバイルサービス

モバイルサービスセグメントにつきましては、コンテンツホルダーとの協業によるデジタルコミック等の販売プラットフォーム事業が好調に推移したことに加え、英語教材の販売やデジタルファーストの電子書籍の強化などの新規事業の拡大により増収となりました。

以上により、「モバイルサービス」の売上高は、前年同期(1,028百万円)比9.2%増の1,122百万円となりました。セグメント利益では、増収するも人材強化に伴う人件費の増加や広告宣伝費等の販売管理費が増加し、前年同期(156百万円)比21.4%減の123百万円の利益となりました。

⑥その他

その他セグメントにつきましては、理工系専門書の販売は減少いたしましたが、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めました株式会社クリエイターズギルドにおいてシステム開発等の受託等が堅調に推移し、売上高は前年同期(249百万円)比71.2%増の427百万円となりました。セグメント利益では、増収により、前年同期(500百万円)比94.9%増の11百万円の利益となりました。

⑦全社

全社区分につきましては、純粋持株会社である当社と、グループの経営管理及び販売／物流管理機能を担う㈱Impress Professional Worksで構成されており、グループ会社からの配当、情報システム等の経営インフラの使用料及びグループ会社や出版社を中心とするパートナー会社の物流・販売管理に伴う手数料収入を売上高として計上し、経営インフラ等の運営に係る費用を負担しております。

全社区分の売上高は、グループ会社からの配当収入の増加等により、前年同期(1,024百万円)比7.0%増の1,096百万円となりました。全社セグメントの利益は、増収により、前年同期(32百万円損失)から83百万円改善し、51百万円の利益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、季節要因等による受取手形及び売掛金や棚卸商品の増加等により、前連結会計年度末に比べ1,371百万円増加し12,659百万円となりました。負債につきましては、季節要因等による仕入債務や返品調整引当金の増加に加え、未払法人税等の計上等により、666百万円増加し5,058百万円となりました。純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により、前連結会計年度末に比べ704百万円増加し7,600百万円となりました。

純資産から新株予約権及び非支配株主持分を引いた自己資本は7,577百万円となり、自己資本比率は59.9%と前連結会計年度末(61.0%)と比べ1.0ポイント減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、デジタルメディア事業の減収及び新刊書籍販売の減少等はあったものの、カレンダー及び手帳等の季節商品の出荷の増加、モバイルサービス事業の好調な推移等により補い、売上高及び経常利益につきましては概ね当初の想定通りに推移しております。

通期業績予想につきましては、第4四半期連結会計期間において季節商品の出荷規模の拡大に伴う返品の見込まれるものの、遅れていた新刊書籍の刊行の増加等で補い、売上高及び経常利益については当初の予定通りの推移となる見通しです。なお、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、保有する投資有価証券の売却により投資有価証券売却益の特別利益を計上することとなったため、下記の通り業績予想を修正しております。

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
平成29年5月12日発表 予想 (A)	11,500	100	60	1.80円
平成30年1月30日発表 予想 (B)	11,500	100	200	6.00円
増減額 (B-A)	—	—	140	—

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,794,055	3,764,966
受取手形及び売掛金	3,532,602	4,534,455
有価証券	600,000	700,000
商品及び製品	1,048,095	1,165,494
仕掛品	94,609	116,589
繰延税金資産	122,443	122,443
その他	237,100	377,773
返品債権特別勘定	△17,900	△22,500
貸倒引当金	△49,209	△79,739
流動資産合計	9,361,797	10,679,483
固定資産		
有形固定資産	466,695	441,986
無形固定資産		
ソフトウェア	219,834	191,976
その他	14,154	14,445
無形固定資産合計	233,989	206,421
投資その他の資産		
投資有価証券	720,811	788,838
破産更生債権等	133,681	110,237
繰延税金資産	55,360	55,360
その他	432,512	470,411
貸倒引当金	△117,024	△93,579
投資その他の資産合計	1,225,341	1,331,267
固定資産合計	1,926,025	1,979,676
資産合計	11,287,823	12,659,159
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,247,595	1,518,440
短期借入金	560,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	232,200	239,956
未払法人税等	20,150	136,746
賞与引当金	105,694	41,944
返品調整引当金	145,046	205,802
その他	870,715	1,047,251
流動負債合計	3,181,402	3,690,141
固定負債		
長期借入金	119,988	214,626
繰延税金負債	42,964	59,130
退職給付に係る負債	1,044,337	1,092,057
その他	3,481	2,973
固定負債合計	1,210,771	1,368,787
負債合計	4,392,173	5,058,928

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,341,021	5,341,021
資本剰余金	1,664,508	1,664,508
利益剰余金	595,130	1,233,587
自己株式	△722,575	△723,107
株主資本合計	6,878,084	7,516,010
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	97,526	134,268
為替換算調整勘定	51,432	53,330
退職給付に係る調整累計額	△146,097	△125,683
その他の包括利益累計額合計	2,860	61,915
新株予約権	14,704	14,704
非支配株主持分	—	7,600
純資産合計	6,895,650	7,600,231
負債純資産合計	11,287,823	12,659,159

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	9,131,530	9,547,763
売上原価	5,610,024	5,662,415
売上総利益	3,521,506	3,885,347
返品調整引当金繰入額	37,437	65,356
差引売上総利益	3,484,069	3,819,991
販売費及び一般管理費	2,958,259	3,119,796
営業利益	525,809	700,195
営業外収益		
受取利息	3,829	2,525
受取配当金	1,338	613
持分法による投資利益	52,084	47,985
貸倒引当金戻入額	—	19,849
その他	5,322	9,421
営業外収益合計	62,575	80,395
営業外費用		
支払利息	7,341	6,049
出資金運用損	749	6,539
その他	2,949	3,625
営業外費用合計	11,040	16,214
経常利益	577,344	764,376
特別利益		
投資有価証券売却益	—	46,337
新株予約権戻入益	2,135	—
その他	146	—
特別利益合計	2,282	46,337
特別損失		
投資有価証券評価損	1,399	—
その他	0	—
特別損失合計	1,400	—
税金等調整前四半期純利益	578,227	810,714
法人税、住民税及び事業税	125,124	150,569
法人税等調整額	3,270	△594
法人税等合計	128,395	149,974
四半期純利益	449,831	660,739
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	2,263
親会社株主に帰属する四半期純利益	449,831	658,475

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	449,831	660,739
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22,958	36,741
為替換算調整勘定	△24,045	1,898
退職給付に係る調整額	21,078	20,414
その他の包括利益合計	△25,925	59,054
四半期包括利益	423,906	719,794
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	423,906	717,530
非支配株主に係る四半期包括利益	—	2,263

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	調整額 (注) 3	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	IT	音楽	デザイン	山岳・自然	モバイル サービス	計			
売上高	4,357,808	1,313,826	649,284	1,595,142	1,028,031	8,944,092	249,987	(62,549)	9,131,530
セグメント利益	284,269	7,777	67,411	185,025	156,561	701,045	5,853	(181,089)	525,809

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、出版事業等、電子出版等の事業開発、R&Dが含まれております。

2. セグメント利益は、調整を行い、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△181,089千円には、セグメント間の内部売上高の取引消去△62,549千円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△1,053,707千円、セグメント間の営業費用の取引消去935,167千円が含まれております。

当第3四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	調整額 (注) 3	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	IT	音楽	デザイン	山岳・自然	モバイル サービス	計			
売上高	4,374,030	1,433,569	692,639	1,596,099	1,122,679	9,219,017	427,879	(99,133)	9,547,763
セグメント利益	388,456	16,311	86,641	239,254	123,120	853,784	11,409	(164,998)	700,195

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、出版事業等、電子出版等の事業開発、R&D及びWebコンテンツの企画・制作等が含まれております。

2. セグメント利益は、調整を行い、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△164,998千円には、セグメント間の内部売上高の取引消去△99,133千円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△1,025,296千円、セグメント間の営業費用の取引消去959,431千円が含まれております。